

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 鳥取県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	厚生病院	3
鳥取市	市立病院	4
岩美町	国保岩美病院	5
智頭町	国保智頭病院	6
南部町	西伯病院	7
日南町	日南町国民健康保険 日南病院	8
日野病院組合	日野病院	9

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	89,825 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	504	80.2	85.6	90.4
療養	-	-	-	-
結核	10	7.2	10.5	19.9
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	518	78.2	83.2	87.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	13.0	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	573,441	
決算規模(千円)	346,276,373	
標準財政規模(千円)	209,036,046	
財政力指数	0.28162	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	136.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,632,056			
1 経常収益	16,609,659			
(1) 医業収益	14,602,751			
入院収益	10,262,899			
外来収益	3,698,943			
診療収入計	13,961,842			
その他医業収益	640,909			
(うち他会計負担金)	315,428			
(2) 医業外収益	2,006,908			
(うち国・都道府県補助金)	84,311			
(うち他会計補助・負担金)	863,551			
(うち長期前受金戻入)	828,851			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,397			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,911,200			
2 経常費用	17,427,845			
(1) 医業費用	16,515,262			
職員給与費	7,226,239	49.5	55.7	49.1
材料費	4,508,652	30.9	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,077,898	14.2	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,333,306	16.0	11.0	12.7
減価償却費	2,151,915	14.7	9.0	8.4
経費	2,562,236	17.5	23.3	20.7
(うち委託料)	1,037,816	7.1	11.5	11.6
研究研修費	56,983			
資産減耗費	9,237			
(2) 医業外費用	912,583			
(うち支払利息)	162,165	1.1	1.4	1.2
(3) 特別損失	483,355			
損益				
経常損益	-818,186			
純損益	-1,279,144			
累積欠損金	2,144,125			
経常収支比率	95.3		97.7	98.8
医業収支比率	88.4		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	88.5		85.7	89.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	51,182,843
1 固定資産	40,624,372
(1) 有形固定資産	38,295,389
(2) 無形固定資産	54,511
(3) 投資その他の資産	2,274,472
2 流動資産	10,558,471
(1) 現金及び預金	6,595,851
(2) 未収金及び未収収益	3,769,525
(3) 貸倒引当金()	11,553
(4) 貯蔵品	192,648
3 繰延資産	-
負債合計	41,535,752
1 固定負債	35,495,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,240,517
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,225,859
(7) リース債務	28,817
2 流動負債	4,549,410
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,304,898
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	587,025
(6) リース債務	15,539
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,523,424
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,491,149
(1) 長期前受金	8,693,505
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,202,356
資本合計	9,647,091
1 資本金	16,630,179
2 剰余金	-6,983,088
(1) 資本剰余金	10,757
(2) 利益剰余金	-6,993,845
負債・資本合計	51,182,843
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.5
修正医業収益(千円)	14,287,323

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,721,935	1,178,979
資本勘定繰入	713,160	673,731
計	2,435,095	1,852,710

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	
				病院名	厚生病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,734 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	81.4	81.6	83.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	304	80.4	80.5	82.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	14.4	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	573,441	
決算規模(千円)	346,276,373	
標準財政規模(千円)	209,036,046	
財政力指数	0.28162	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	136.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.7
修正医業収益(千円)	7,019,788

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,964,987			
1 経常収益	7,957,687			
(1) 医業収益	7,113,401			
入院収益	4,901,205			
外来収益	1,953,951			
診療収入計	6,855,156			
その他医業収益	258,245			
(うち他会計負担金)	93,613			
(2) 医業外収益	844,286			
(うち国・都道府県補助金)	33,501			
(うち他会計補助・負担金)	487,398			
(うち長期前受金戻入)	251,613			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,300			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,788,894			
2 経常費用	7,774,099			
(1) 医業費用	7,411,352			
職員給与費	3,723,411	52.3	55.7	57.0
材料費	1,586,239	22.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	926,521	13.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	659,000	9.3	11.0	11.3
減価償却費	531,659	7.5	9.0	9.3
経費	1,549,643	21.8	23.3	22.1
(うち委託料)	743,879	10.5	11.5	11.1
研究研修費	18,185			
資産減耗費	2,215			
(2) 医業外費用	362,747			
(うち支払利息)	89,469	1.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	14,795			
損益				
経常損益	183,588			
純損益	176,093			
累積欠損金	4,849,720			
経常収支比率	102.4		97.7	96.4
医業収支比率	96.0		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	94.9		85.7	85.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	51,182,843
1 固定資産	40,624,372
(1) 有形固定資産	38,295,389
(2) 無形固定資産	54,511
(3) 投資その他の資産	2,274,472
2 流動資産	10,558,471
(1) 現金及び預金	6,595,851
(2) 未収金及び未収収益	3,769,525
(3) 貸倒引当金()	11,553
(4) 貯蔵品	192,648
3 繰延資産	-
負債合計	41,535,752
1 固定負債	35,495,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,240,517
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,225,859
(7) リース債務	28,817
2 流動負債	4,549,410
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,304,898
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	587,025
(6) リース債務	15,539
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,523,424
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,491,149
(1) 長期前受金	8,693,505
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,202,356
資本合計	9,647,091
1 資本金	16,630,179
2 剰余金	-6,983,088
(1) 資本金剰余金	10,757
(2) 利益剰余金	-6,993,845
負債・資本合計	51,182,843
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	829,270	581,011
資本勘定繰入	250,538	228,522
計	1,079,808	809,533

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	鳥取市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,839 m ²	指定病院の状況	救臨がへ地輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	340	73.8	74.9	75.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	340	73.8	74.9	75.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	13.7	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	193,717	
決算規模(千円)	102,166,213	
標準財政規模(千円)	50,441,991	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	69.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.1
修正医業収益(千円)	6,439,480

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,335,401			
1 経常収益	7,324,189			
(1) 医業収益	6,635,260			
入院収益	4,590,322			
外来収益	1,500,565			
診療収入計	6,090,887			
その他医業収益	544,373			
(うち他会計負担金)	195,780			
(2) 医業外収益	688,929			
(うち国・都道府県補助金)	9,904			
(うち他会計補助・負担金)	464,547			
(うち長期前受金戻入)	114,538			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,212			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,065,544			
2 経常費用	8,065,377			
(1) 医業費用	7,659,979			
職員給与費	4,600,754	69.3	55.7	57.0
材料費	1,354,182	20.4	24.7	24.5
(うち薬品費)	632,724	9.5	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	679,290	10.2	11.0	11.3
減価償却費	543,109	8.2	9.0	9.3
経費	1,016,894	15.3	23.3	22.1
(うち委託料)	565,524	8.5	11.5	11.1
研究研修費	124,729			
資産減耗費	20,311			
(2) 医業外費用	405,398			
(うち支払利息)	151,355	2.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	167			
損益				
経常損益	-741,188			
純損益	-730,143			
累積欠損金	10,728,425			
経常収支比率	90.8		97.7	96.4
医業収支比率	86.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	82.6		85.7	85.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,023,102
1 固定資産	7,777,848
(1) 有形固定資産	7,695,784
(2) 無形固定資産	5,327
(3) 投資その他の資産	76,737
2 流動資産	2,245,254
(1) 現金及び預金	356,359
(2) 未収金及び未収収益	1,313,179
(3) 貸倒引当金()	8,395
(4) 貯蔵品	77,202
3 繰延資産	-
負債合計	7,466,141
1 固定負債	5,496,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,272,361
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,211,437
(7) リース債務	12,320
2 流動負債	1,682,758
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,044,379
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	290,358
(6) リース債務	12,747
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	295,422
(9) 前受金及び前受収益	270
3 繰延収益	287,265
(1) 長期前受金	1,279,870
(2) 長期前受金収益化累計額()	992,605
資本合計	2,556,961
1 資本金	13,285,386
2 剰余金	-10,728,425
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-10,728,425
負債・資本合計	10,023,102
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	656,956	660,327
資本勘定繰入	624,235	654,763
計	1,281,191	1,315,090

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	161.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	岩美町
				病院名	国保岩美病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,582 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	87.0	85.5	86.9
療養	50	85.5	85.3	89.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	86.3	85.4	88.0
平均在院日数(一般病床のみ)		20.4	17.5	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	11,485	
決算規模(千円)	7,316,581	
標準財政規模(千円)	4,214,343	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	40.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.8
修正医業収益(千円)	1,701,274

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,005,034			
1 経常収益	2,005,034			
(1) 医業収益	1,744,340			
入院収益	820,415			
外来収益	805,135			
診療収入計	1,625,550			
その他医業収益	118,790			
(うち他会計負担金)	43,066			
(2) 医業外収益	260,694			
(うち国・都道府県補助金)	1,174			
(うち他会計補助・負担金)	225,420			
(うち長期前受金戻入)	22,108			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,017,347			
2 経常費用	2,012,397			
(1) 医業費用	1,895,300			
職員給与費	1,003,799	57.5	55.7	61.3
材料費	398,843	22.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	318,950	18.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,610	4.4	11.0	8.2
減価償却費	162,238	9.3	9.0	10.2
経費	326,836	18.7	23.3	30.5
(うち委託料)	159,381	9.1	11.5	13.0
研究研修費	2,171			
資産減耗費	1,413			
(2) 医業外費用	117,097			
(うち支払利息)	56,961	3.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	4,950			
損益				
経常損益	-7,363			
純損益	-12,313			
累積欠損金	1,072,303			
経常収支比率	99.6		97.7	96.5
医業収支比率	92.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	13.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.3		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,845,561
1 固定資産	3,537,214
(1) 有形固定資産	3,513,714
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	23,500
2 流動資産	1,308,347
(1) 現金及び預金	1,031,687
(2) 未収金及び未収収益	253,453
(3) 貸倒引当金()	421
(4) 貯蔵品	23,628
3 繰延資産	-
負債合計	3,277,964
1 固定負債	2,722,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,722,159
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	416,222
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	238,176
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,069
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,170
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	139,583
(1) 長期前受金	357,631
(2) 長期前受金収益化累計額()	218,048
資本合計	1,567,597
1 資本金	2,639,900
2 剰余金	-1,072,303
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,072,303
負債・資本合計	4,845,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,128	268,486
資本勘定繰入	115,872	115,872
計	356,000	384,358

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	智頭町
				病院名	国保智頭病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	12,639 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	12	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	52	84.3	84.8	95.6
療養	47	94.1	87.1	99.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	89.0	85.9	97.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	22.3	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	7,154	
決算規模(千円)	6,254,389	
標準財政規模(千円)	3,559,330	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	88.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,872,503			
1 経常収益	1,761,011			
(1) 医業収益	1,205,903			
入院収益	751,407			
外来収益	359,952			
診療収入計	1,111,359			
その他医業収益	94,544			
(うち他会計負担金)	19,514			
(2) 医業外収益	555,108			
(うち国・都道府県補助金)	28,567			
(うち他会計補助・負担金)	286,225			
(うち長期前受金戻入)	16,416			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	111,492			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,744,774			
2 経常費用	1,744,774			
(1) 医業費用	1,461,138			
職員給与費	881,705	73.1	55.7	72.6
材料費	160,183	13.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	56,784	4.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	81,805	6.8	11.0	5.6
減価償却費	141,367	11.7	9.0	11.1
経費	273,987	22.7	23.3	31.9
(うち委託料)	134,159	11.1	11.5	13.0
研究研修費	3,139			
資産減耗費	757			
(2) 医業外費用	283,636			
(うち支払利息)	59,244	4.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	16,237			
純損益	127,729			
累積欠損金	3,008,841			
経常収支比率	100.9		97.7	97.4
医業収支比率	82.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	17.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	25.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	16.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	83.4		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,633,164
1 固定資産	4,025,686
(1) 有形固定資産	4,017,721
(2) 無形固定資産	1,305
(3) 投資その他の資産	6,660
2 流動資産	607,478
(1) 現金及び預金	366,937
(2) 未収金及び未収収益	240,218
(3) 貸倒引当金()	2,027
(4) 貯蔵品	1,769
3 繰延資産	-
負債合計	3,892,303
1 固定負債	3,110,858
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,921,178
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	189,680
(7) リース債務	-
2 流動負債	334,975
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	217,683
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,805
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	59,708
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	446,470
(1) 長期前受金	583,047
(2) 長期前受金収益化累計額()	136,577
資本合計	740,861
1 資本金	3,689,668
2 剰余金	-2,948,807
(1) 資本金剰余金	60,034
(2) 利益剰余金	-3,008,841
負債・資本合計	4,633,164
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.2
修正医業収益(千円)	1,186,389

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,739	305,739
資本勘定繰入	136,904	136,904
計	442,643	442,643

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	249.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	南部町
				病院名	西伯病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,798 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	11	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	49	87.0	80.4	83.0
療養	50	86.3	84.2	86.6
結核	-	-	-	-
精神	99	80.3	83.5	87.1
感染症	-	-	-	-
計	198	83.5	82.9	86.0
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	21.8	20.2

設立団体の状況		
人口(人)		10,950
決算規模(千円)		6,713,804
標準財政規模(千円)		4,242,199
財政力指数		0.26
経常収支比率(%)		92.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	25.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.9
修正医業収益(千円)	1,769,361

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,312,320			
1 経常収益	2,311,761			
(1) 医業収益	1,818,732			
入院収益	1,229,444			
外来収益	434,321			
診療収入計	1,663,765			
その他医業収益	154,967			
(うち他会計負担金)	49,371			
(2) 医業外収益	493,029			
(うち国・都道府県補助金)	6,831			
(うち他会計補助・負担金)	375,577			
(うち長期前受金戻入)	56,103			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	559			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,323,475			
2 経常費用	2,323,475			
(1) 医業費用	2,214,834			
職員給与費	1,302,464	71.6	55.7	98.9
材料費	165,422	9.1	24.7	8.8
(うち薬品費)	91,023	5.0	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,332	3.8	11.0	1.1
減価償却費	150,667	8.3	9.0	12.7
経費	590,696	32.5	23.3	34.6
(うち委託料)	223,708	12.3	11.5	17.1
研究研修費	4,516			
資産減耗費	1,069			
(2) 医業外費用	108,641			
(うち支払利息)	60,523	3.3	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-11,714			
純損益	-11,155			
累積欠損金	1,082,645			
経常収支比率	99.5		97.7	98.9
医業収支比率	82.1		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.4		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.4		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	18.4		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	81.2		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,591,766
1 固定資産	3,118,380
(1) 有形固定資産	3,109,210
(2) 無形固定資産	390
(3) 投資その他の資産	8,780
2 流動資産	473,386
(1) 現金及び預金	63,485
(2) 未収金及び未収収益	395,944
(3) 貸倒引当金()	3,046
(4) 貯蔵品	17,003
3 繰延資産	-
負債合計	3,466,421
1 固定負債	2,698,451
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,698,451
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	484,971
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	197,232
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	104,678
(6) リース債務	28
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	73,253
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	282,999
(1) 長期前受金	718,160
(2) 長期前受金収益化累計額()	435,161
資本合計	125,345
1 資本金	860,934
2 剰余金	-735,589
(1) 資本剰余金	327,640
(2) 利益剰余金	-1,063,229
負債・資本合計	3,591,766
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	394,739	424,948
資本勘定繰入	67,996	67,996
計	462,735	492,944

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	59.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	日南町
				病院名	日南町国民健康保険 日南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,645 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	59	59.2	66.4	63.8
療養	40	78.2	82.0	68.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	66.9	72.7	65.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.8	15.5

設立団体の状況		
人口(人)	4,765	
決算規模(千円)	7,313,623	
標準財政規模(千円)	3,273,792	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.7
修正医業収益(千円)	740,075

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,117,826			
1 経常収益	1,117,826			
(1) 医業収益	801,441			
入院収益	487,515			
外来収益	200,320			
診療収入計	687,835			
その他医業収益	113,606			
(うち他会計負担金)	61,366			
(2) 医業外収益	316,385			
(うち国・都道府県補助金)	7,417			
(うち他会計補助・負担金)	286,847			
(うち長期前受金戻入)	14,072			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,124,483			
2 経常費用	1,124,483			
(1) 医業費用	1,093,371			
職員給与費	615,430	76.8	55.7	72.6
材料費	76,855	9.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	34,694	4.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	42,161	5.3	11.0	5.6
減価償却費	78,059	9.7	9.0	11.1
経費	318,328	39.7	23.3	31.9
(うち委託料)	97,324	12.1	11.5	13.0
研究研修費	4,160			
資産減耗費	539			
(2) 医業外費用	31,112			
(うち支払利息)	5,783	0.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-6,657			
純損益	-6,657			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.4		97.7	97.4
医業収支比率	73.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	31.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	43.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	31.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	68.4		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,489,707
1 固定資産	940,585
(1) 有形固定資産	797,686
(2) 無形固定資産	652
(3) 投資その他の資産	142,247
2 流動資産	1,549,122
(1) 現金及び預金	1,429,015
(2) 未収金及び未収収益	116,615
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,492
3 繰延資産	-
負債合計	691,663
1 固定負債	509,499
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	485,043
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	24,456
(7) リース債務	-
2 流動負債	124,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	57,833
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,723
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,412
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	57,696
(1) 長期前受金	284,991
(2) 長期前受金収益化累計額()	227,295
資本合計	1,798,044
1 資本金	843,075
2 剰余金	954,969
(1) 資本金剰余金	25,444
(2) 利益剰余金	929,525
負債・資本合計	2,489,707
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	370,347	348,213
資本勘定繰入	43,393	25,950
計	413,740	374,163

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	日野病院組合
				病院名	日野病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,247 m ²	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	20	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	82.4	79.9	81.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	82.4	79.9	81.7
平均在院日数(一般病床のみ)		28.7	30.7	32.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.5
修正医業収益(千円)	1,403,636

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,849,399				
1 経常収益	1,849,399				
(1) 医業収益	1,512,614				
入院収益	897,325				
外来収益	437,495				
診療収入計	1,334,820				
その他医業収益	177,794				
(うち他会計負担金)	108,978				
(2) 医業外収益	336,785				
(うち国・都道府県補助金)	787				
(うち他会計補助・負担金)	249,157				
(うち長期前受金戻入)	49,608				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,795,635				
2 経常費用	1,795,635				
(1) 医業費用	1,722,185				
職員給与費	910,817	60.2	55.7	72.6	
材料費	241,728	16.0	24.7	15.8	
(うち薬品費)	136,658	9.0	13.3	9.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	104,820	6.9	11.0	5.6	
減価償却費	160,705	10.6	9.0	11.1	
経費	399,738	26.4	23.3	31.9	
(うち委託料)	139,177	9.2	11.5	13.0	
研究研修費	4,814				
資産減耗費	4,383				
(2) 医業外費用	73,450				
(うち支払利息)	22,051	1.5	1.4	1.7	
(3) 特別損失	-				
損益					
経常損益	53,764				
純損益	53,764				
累積欠損金	-				
経常収支比率	103.0		97.7	97.4	
医業収支比率	87.8		88.1	75.6	
他会計繰入金対経常収益比率	19.4		12.3	23.8	
他会計繰入金対医業収益比率	23.7		14.5	32.6	
他会計繰入金対総収益比率	19.4		12.4	23.9	
実質収益対経常費用比率	83.0		85.7	74.2	

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,256,512
1 固定資産	2,059,142
(1) 有形固定資産	2,059,142
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,197,370
(1) 現金及び預金	915,070
(2) 未収金及び未収収益	252,253
(3) 貸倒引当金()	752
(4) 貯蔵品	9,142
3 繰延資産	-
負債合計	2,277,483
1 固定負債	1,442,637
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,137,893
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	304,744
(7) リース債務	-
2 流動負債	360,903
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	172,007
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,415
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	122,418
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	473,943
(1) 長期前受金	854,823
(2) 長期前受金収益化累計額()	380,880
資本合計	979,029
1 資本金	454,219
2 剰余金	524,810
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	524,810
負債・資本合計	3,256,512
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	449,445	358,135
資本勘定繰入	87,575	-
計	537,020	358,135

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。